

令和 8 年度（令和 7 年度決算）上板町教育委員会

事業名	文化財保護事業					
事業費 (千円)	557	財 源	国庫	県費	その他	一般財源等 557
目的	町内に残る文化に対する再評価、文化財保護に対する町民意識の向上、貴重な地域文化の一つである国選定保存技術「阿波藍製造」技術の後継者育成、日本遺産「藍のふるさと阿波」魅力発信事業に取り組む。					
対象・内容等	町内指定文化財の保存・周知、埋蔵文化財の保存（発掘調査・試掘調査・工事立会等）、阿波藍製造技術保存会事業（事業費は阿波藍製造技術者の会費と文化庁補助金のみで成り立っている）、日本遺産「藍のふるさと阿波」魅力発信事業 対象は主に町民、阿波藍製造技術者とその後継者（阿波藍製造技術保存会事業）					
実績等	・文化財防災設備点検、防蟻処理、緊急対応解体格納 1 件（国、県補助金を活用・自己負担有） ・選保藍生産・製造技術者養成研修文化財保存技術（伝承）団体事業（阿波藍製造技術保存会事業、国補助金活用・自己負担有） ・日本遺産「藍のふるさと阿波」魅力発信事業(国補助金・市町負担有)					
成果等	☐ 達成 ☒ おおむね達成 ☐ やや不十分 ☐ 不十分		阿波藍製造は、後継者養成事業・定期刊行物の発行・関連技術の研修を実施、また、福井県越前市で開催された日本の技フェアに参加し、同技術保存の維持・普及に努めた。日本遺産「藍のふるさと阿波」の魅力発信事業として、連携パネル展示の実施、倉敷市にて開催された日本遺産フェス、東京にて開催された日本遺産マルシェ等に参加した。今後は文化財の活用をすすめていく。 国指定重要文化財の戸田家住宅は、令和7年度に長屋門に付随している使用人部屋兼外壁の瓦が崩落し、文化庁の指示のもと緊急対応として解体格納を行った。今後、所有者と協議の上現状の復旧を行う予定である。			
次年度以降の 取組み	☐ さらに重点化する ☐ 現状のまま継続する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する					